

事務事業評価資料

施策名		体験教育の推進		所管部局課名	教育委員会事務局 高校教育課					
事業名		トライやる・ワーク（高校生地域貢献事業）		担当者電話番号	生徒指導係 078-362-3778					
事業目的		積極的に地域を支える人材としての自覚と態度の養成								
事業内容		県立高校の1年生を対象に、クラス・グループ等を単位として、ボランティア活動や福祉活動、芸術分野における様々な活動（交流会、発表会等）など、地域に貢献する活動を支援				事業開始年度	平成17年度			
事業に要するコスト	区分	平成20年度決算額		平成21年度当初予算額		平成22年度当初予算額				
	事業費	(65,095千円) 65,095千円		(85,690千円) 85,690千円		(74,250千円) 74,250千円				
	人件費	847千円	従事人員 0.1人	836千円	従事人員 0.1人	820千円	従事人員 0.1人			
	総コスト（+）	65,942千円	従事人員 0.1人	86,526千円	従事人員 0.1人	75,070千円	従事人員 0.1人			
事業の目標		全県立高校で実施			[目標設定理由] 積極的に地域を支える人材としての自覚と態度を養成するため、全県立高校で実施					
目標の達成度を示す指標		指標名	目 標		20年度実績	21年度見込み	22年度目標	達成率（%）		
			目標値	年度				H20	H21	H22
		実施校数	全県立高校	毎年度	156校 (423千円)	153校 (566千円)	152校 (494千円)	100%	100%	100%
評価結果	必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・都市化や少子化の進展など社会が成熟し、集団よりも個を重視する傾向に変化している状況の中で、社会を構成する個人が、社会を維持し、より良いものにしていく責任は自分たち一人一人にあるという公共の精神を自覚させる必要がある。 ・地域社会の一員としての自覚や態度を醸成し、豊かな人間性の涵養を図るため、生徒の発達段階に応じた体系的な兵庫型体験活動の充実を図っていく必要がある。 								
	有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・全県立高校で実施され、地域を支える人材としての自覚と態度の養成が図られており、有効な事業である。 ・地域の伝統文化、民族芸能の継承活動（豊岡おどり等）や地域社会の力となる活動（パソコン教室等）が実施され、地域を支える人材としての自覚と態度の養成が図られている。 								
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・事業に必要な資材を生徒自ら手づくりで作製する等、事業企画段階からの工夫により事業効果を維持しつつ、各校での経費面の効率化を図る。 (H21:110千円/CL H22:90千円/CL) 								
	民間・市町との役割分担	<ul style="list-style-type: none"> ・県立高校在校生の地域貢献活動を支援する事業であるため、県で実施する。 								
	受益と負担の適正化	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の一環として実施するものであり、新たな負担を求める必要はない。 								
実施方針	方向性	新規 廃止	拡充 縮小	（継続） 統合	凍結(休止)	実施手法の見直し 延長 終期設定				
	実施手法の見直し内容	市町移譲	民間移譲	民間委託	PFI	負担割合変更	事務改善	その他		
説明	<ul style="list-style-type: none"> ・より効果的な事業内容・執行方法について、引き続き検討のうえ実施 									